

酒類・加工食品業界の業務効率化と標準化推進をめざす [ファイン・ファイネット]

# FINE FINET

[Finet Event]

## 酒類・加工食品業界の 永続的な繁栄のために

～2014年度ファイネットユーザー会を開催～

## ファイネット・ヘルプデスク便り

[Finet Information]

当社の情報セキュリティ活動について

Vol. **31**  
2014 Summer  
ファイネット発行

# 酒類・加工食品業界の 永続的な繁栄のために

## ～2014年度ファイネットユーザー会を開催～

ファイネットユーザー会を、5月27日(火)に東京・箱崎のロイヤルパークホテルで開催いたしました。当日は、133社・271名の皆様にご参加いただきました。

当社社長・細見典男の挨拶で始まり、第1部では事業状況についてのご報告と株式会社野村総合研究所・梅屋真一郎様によるご講演が行われました。

第2部の懇親会では、ユーザー様間での交誼を大いに深めていただき、ユーザー様を代表して伊藤忠食品株式会社・竹腰雅一様に乾杯のご発声、三菱食品株式会社・鈴木大一郎様に中締めを行っていただき、盛況のうちに無事終了いたしました。



多くのユーザー様にご参加いただきました

## 細見社長によるご挨拶

昨年度は一段高い品質向上に取り組み、委託先ベンダーの皆様とも協力して強固な基盤をつくり、多くのはっきりとした成果が表れてまいりました。

食品産業においては、製・配・販連携協議会や流通BMSをはじめとする業界全体でのコラボレーションや標準化への取り組みが続いています。食品産業のおかれている厳しい状況を踏まえると、これからもこういった連携や標準化への取り組みの重要性はさらに増していくものと感じています。

当社は昨年度、長期ビジョンを策定しました。またそのビジョンに基づいた新たな中期経営計画も策定しました。その初年度として今年は、まず、さらなる品質向上に取り組みます。障害があった際の皆様との情報共有の迅速化を図り、また多様な通信手段のメリットを皆様に普及していきます。



第2部・懇親会の様子

次に、10月から平均7.1%の料金値下げを実施いたします。さらに、新たな取り組みにもチャレンジします。一昨年から導入したPDF変換サービスをテコとしたサービス強化や、まだ取り組めていないデータ種へのチャレンジを行ってまいります。



細見典男社長



伊藤忠食品(株) 竹腰雅一様



三菱食品(株) 鈴木大一郎様

## I 2013年度事業報告

1. 商品流通VANサービス	加入企業数	1,800社（前年比△29社）
	接続数	1万302接続（前年比102.1%）
	データ件数	22.2億件（前年比107.2%）
2. 資材VANサービス	加入企業数	184社（前年比+15社）
	データ件数	419万件（前年比102.0%）
3. FDB（商品情報DB）サービス	加入企業数	331社（前年比+2社）
	登録商品数	13.8万件（前年比108.5%）

## II 中期経営計画（2011年度～2013年度）取組み状況

1. 中期的重点課題
  - (1) 低コストと安定性、機能的優位性の実現
  - (2) 徹底したユーザーニーズの把握と新サービスの提供
  - (3) 標準化の推進と、それを実現する共有情報インフラサービスの提供
  - (4) 新規領域の可能性検討
2. 主な取組み
  - (1) 商品流通VANサービス⇒低コストの実現に向けて「インターネット手順追加」  
⇒安定性向上に向けて「緊急避難システム（DRサイト）リプレース」
  - (2) 資材VANサービス⇒低コストの実現に向けて「サプライヤー向け値下げ実施」  
⇒安定性向上に向けて「DRサイトに対応」
  - (3) FDB（商品情報DB）サービス⇒法令対応「アレルゲン2項目追加（カシューナッツ、ごま）」  
⇒ユーザーニーズに基づく機能改善「『外食標準規格書』の出力機能追加」
  - (4) 標準化推進活動⇒「商品情報授受標準化会議（PITS）の立ち上げ」

## III 長期ビジョンと次期中期経営計画（2014年度～2016年度）

1. ミッション「酒類・加工食品業界の持続的な繁栄のために貢献する」
2. 長期ビジョン「『すべてはファイネットに通じる』を目標に業界プラットフォームを提供する」
3. 次期中期経営計画（2014年度～2016年度）

- ①システム基盤  
安定運用に向けたさらなる品質強化  
コスト削減の模索、適正化推進  
次世代に向けた準備／取組み
- ②商品流通VANサービス  
堅調なデータ量の伸びを3ヵ年で最大化する
- ③資材VANサービス  
メーカー／サプライヤーへのアプローチ強化によるユーザー拡大
- ④FDB（商品情報DB）サービス  
サービスの構造改革を実行
- ⑤標準化活動  
標準化関連会議体の運営／サポート継続と関係外部団体等との連携強化
- ⑥新たな取組み  
新たなサービス事業について積極的に検討／実施する

## IV 2014年度事業計画

### 1. サービス基盤品質向上と機能拡充の取組み

- (1) 緊急避難システム（DRサイト）機能拡充
- (2) 障害発生時の対応力強化→障害管理サイトを構築
- (3) インターネット手順のサポート
- (4) 商品流通VAN 送受信状況照会Webの機能改善
- (5) 商品流通VAN データ着信お知らせメール機能の追加

### 2. サービス価値向上の取組み

商品流通VANサービスの  
値下げ実施  
(2014年10月予定)

**概要** 平均7.1%の値下げ

- ・通信処理料（特に販売実績データ）とホストの利用基本料の値下げ
- ・VANサービス利用の初回一時金の撤廃

**趣旨** 既存ユーザー様のさらなる利便性向上  
新規ユーザー様の加入ハードルの低減

### 3. 標準化推進活動

- (1) 酒類・加工食品標準化推進会議の運営
- (2) 食の安心情報ネットワークとの取組み継続
- (3) 商品情報授受標準化会議（PITS）へのサポートの継続

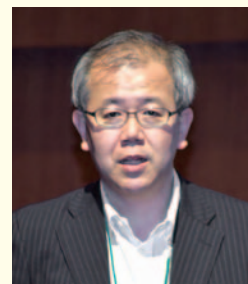
講演

## 「番号制度の概略と企業への影響」

### ～インパクトと必要な対応策～

[講演者]

株式会社野村総合研究所 未来創発センター 制度戦略研究室  
室長 梅屋真一郎様



2013年5月24日の通常国会で『行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律』（以下「番号制度」）が成立しました。番号制度が民間企業およびそこで働く従業員にどのような影響を及ぼすのかについて、株式会社野村総合研究所の梅屋様にご講演いただきました。

### ①番号制度の概要

2015年後半に個人・法人に番号が交付され、2016年1月から、まずは税・社会保障分野などで導入がはじまる。制度導入により、行政サービスの効率化や国民・企業の諸手続きの利便性が進んでいくと期待されている。

2015年後半

個人に「個人番号」、法人などに「法人番号」を通知



2016年1月以降

社会保障、税、防災分野のうち、可能な範囲から番号を利用

(例) 年金、雇用保険などの手続き、生活保護や福祉の給付、確定申告などの税の手続き

但し、個人情報保護の観点から、番号の利用や管理に際して、様々な制約を受ける。

→番号の漏洩、不正取得などは、刑事罰を含む厳しい処罰も

(例) 故意に漏洩した場合、4年以下の懲役もしくは200万円以下の罰金

## ②番号制度の企業へのインパクト

企業が行う対応は、番号の通知から関連システムの構築まで多岐にわたる。事業会社、金融機関で必要となる業務および対応は次の通り。

- ✓ 番号の受付、番号の真正性確認、本人確認
- ✓ 源泉徴収票・法定調書への番号の記載、税務署等への提出
- ✓ 番号の適切な保管・運用、関連システム構築

特に雇用・口座開設（金融機関）・情報管理において、企業に大きな業務上の影響を及ぼす可能性がある。業務への影響は、従業員数や雇用形態の多様性など、大手企業のほうが負担は大きい。

## ③制度導入に向けた企業としてのアクションプラン

特に大手企業は、下記の点を留意した対応策を早期に開始すべきである。

- ✓ 経営者による番号制度とその企業活動への影響の理解
- ✓ 会社横断的なタスクフォースの結成
- ✓ 影響把握ならびに対策行程表の作成

### まとめ

- 企業経営にとって大きなリスク要因となりうる
- 全部署、全従業員が「当事者」に
- 今後、様々な基幹業務に（良い面でも悪い面でも）大きな変革を引き起こす要因に

制度開始までの猶予期間が残り1年半と短く、システム・業務面の検討を早い段階から行う必要がある。

### 「番号制度 企業向け情報の公開」

株式会社野村総合研究所の番号制度に関する研究成果は以下のURLから取得できます。

[http://www.nri.com/jp/opinion/r\\_report/bangoseido/kigyo.html](http://www.nri.com/jp/opinion/r_report/bangoseido/kigyo.html)

もしくは  検索

◆ファイネットユーザー会に関するお問い合わせ先◆

株式会社ファイネット 営業推進部 【TEL】 03-5643-3450 【e-mail】 info@finet.co.jp

# ファイネット ヘルプデスク使い

## 手続きサイトからのメール受付を開始しました！

ファイネットでは、ユーザー様からのお問い合わせを、従来の電話による受付に加えて、2014年3月28日（金）より、手続きサイトからメールでも受付できるようになりました。今回は、その「お問い合わせメール」についてご紹介いたします。

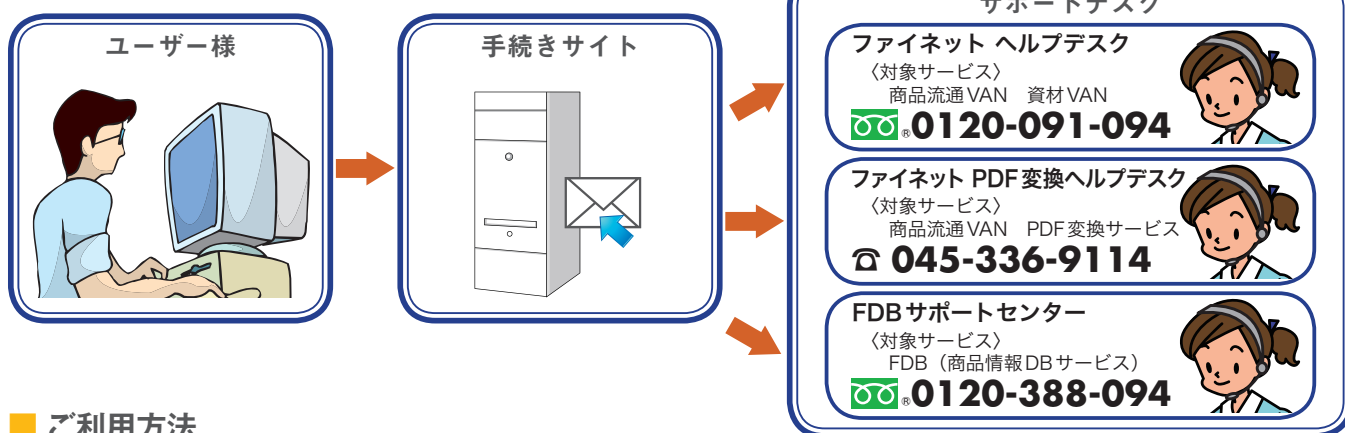
### ■ お問い合わせメールとは

ファイネットでは提供サービスによって、サポートデスクを設けております。

今回ご紹介する、「お問い合わせメール」では、提供サービスをご選択することで、当該のサポートデスクへメールを送信いたします。



### ■ お問い合わせメールの概要



### ■ ご利用方法

- ① 手続きサイトへログインしてください。
- ② ホーム画面の情報発信メニューより「お問い合わせメール」を選択してください。
- ③ お問い合わせ内容をご入力の上送信ボタンよりお問い合わせください。
- ④ 当該のサポートデスクへお問い合わせメールが送信されます。

#### 注意事項

- ・お問い合わせ内容の確認のため、サポートデスクよりご連絡を差し上げる場合がございます。
- ・メールはサポートデスクの運営時間内で順次お答えしておりますが、回答までに時間がかかる場合がございます。お急ぎの場合は、電話にてお問い合わせください。
- ・毎週木曜日22時~24時は、手続きサイトの定期メンテナンスのため、ご利用できません。

なお、ご登録いただきました個人情報につきましては、当社プライバシーポリシーに従い運営・管理いたします。

## 当社の情報セキュリティ活動について

ユーザーの皆様からお預かりしたデータを取り扱う際の情報セキュリティ管理を、重要なリスクマネジメント対象のひとつと捉え、様々な脅威から保護するために情報セキュリティマネジメントシステムを導入し、国際規格である「ISO/IEC27001」の認証を取得しています。全社員が日々、情報セキュリティの維持・向上に取り組んでいます。

### ▶ 情報セキュリティ責任者の設置について

当社では、情報セキュリティ責任者を設置し、全社横断的な情報セキュリティ委員会の責任者として、様々な情報セキュリティの状況を把握し、情報資産の保護を図り、取扱いについてルールを定めるとともに、全社員に対して周知・徹底しています。

事業活動において起こり得る危機の発生を予防するとともに、万が一、事故が発生した場合には、情報セキュリティ責任者の下で迅速かつ適切な対応を取り、被害を最小限に抑えるためのルールを定めています。

また、全社員の情報セキュリティに関する意識を向上させるべく、常に教育を実施しており、情報セキュリティ意識を持って業務を遂行できるように努めています。

常日頃から、ユーザーの皆様からお預かりする様々な情報を保護し、その管理を徹底して業務を行っておりますので、ご安心いただければ幸甚に存じ上げます。



登録証授与式

写真左：BSI グループジャパン株式会社 営業推進部部长 鎌苅隆志様  
写真右：株式会社ファイネット 情報セキュリティ責任者 尾花敏嗣

2005年の認証取得から2013年までの間、3年毎に同一の認証機関による「ISO/IEC27001」の更新審査を継続してきましたが、2013年度には別の観点で「ISO/IEC27001」の有効性をチェックしていただくために、別の認証機関（BSI グループジャパン）への変更を実施し、さらに有効性を高めることを目指しました。

### BSI グループジャパンとは

英国で設立された世界初の国家規格協会であるBSI（British Standards Institution）の日本法人。

信用および実績ともに、国内で有数の認証審査機関です。

## ナビダイヤル (0570) への変更はお済みでしょうか？

ファイネットでは、首都圏において大規模災害発生時にも継続してサービスの提供ができるように、関西地区に「緊急避難システム（以下、DRサイト）」を構築しています。

〈ナビダイヤル (0570) および、大阪 (06 番号) をご利用のユーザー様へ〉

DR サイト発動時はセンター側で接続先を DR サイトへ自動切替しますので、**電話番号の変更は不要**です。また、ナビダイヤル (0570) は災害時に輻輳\*となる可能性が低く、災害耐性に優れた番号となりますので、大阪 (06 番号) をご利用のユーザー様も、通常時からナビダイヤル (0570) をご利用いただくことをお勧めします。

\*輻輳：電話回線のアクセスが集中することで、許容量を超えてしまい、接続ができなくなる状態

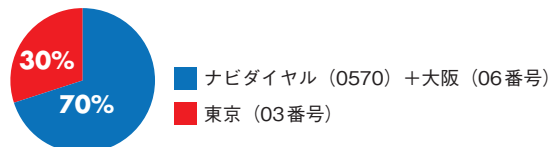
〈東京 (03 番号) をご利用のユーザー様へ〉

DR サイト発動時は、ユーザー様にて接続先をナビダイヤル (0570) に変更する必要があります。災害時への備えとして、通常時からナビダイヤル (0570) へ

の変更をお願い申し上げます。

☞ **すでに70%のユーザー様がナビダイヤル (0570) +大阪 (06 番号) をご利用いただいております。**

接続先 (アクセスポイント) の利用実績



※2014年6月20日現在

【対象サービス】

商品流通 VAN (ホスト接続)、資材 VAN (ホスト接続)

【お問い合わせ先】

ナビダイヤル (0570) につきましては、下記までお問い合わせください。

〔ファイネット ヘルプデスク〕

**0120-091-094** (年中無休 7:30~23:00)

## 当社はペットボトルキャップ回収運動を推進しております

2014年2月より、「NPO 法人キャップの貯金箱推進ネットワーク」に寄付を行うべく、社員一同でペットボトルキャップの回収運動を推進しております。ペットボトルキャップを当 NPO 法人に寄付すると、ポリオ (小児麻痺) ワクチン等の医療物資の購入資源とな

り、世界中に届けられます。

ファイネットは、継続的に社会貢献を推進していきます。

(総務部)



## 夏季休業について

弊社の夏季休業日は、右記の通りとなります。

ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、ファイネット ヘルプデスクは通常通り稼動しておりますので、お問い合わせの際は、ご利用ください。

・夏季休業日 2014年8月11日 (月)

〔ファイネット ヘルプデスク〕

商品流通 VAN ・ 資材 VAN

**0120-091-094** (年中無休 7:30~23:00)

(総務部)



**FINE FINET** (ファイン・ファイネット)

Vol.31 2014 Summer 2014年7月1日発行

[発行] (株) ファイネット 東京都中央区日本橋兜町 13-2 兜町偕成ビル (本館) 7F 〒103-0026  
Tel.03-5643-3400 Fax.03-5643-3499

[編集・発行責任者] 小原 応孝



<http://www.finet.co.jp>